

発達障害に特化

～新タイプのグループホームオープン～

サポート&ケアセンターフレンズ 藤岡 直

2016年4月1日に定員5名の新たなグループホーム「S-HOUSE」を尾道市長江に開設しました。



▲施設の外観

このグループホームは尾道さつき会では初となる借り上げ方式(土地所有者に一軒家を建ててもらい賃貸借契約を結ぶ方法)で運営をしています。

S-HOUSEの最大の特徴は「発達障害や自閉症の方の支援に特化」しているところです。当日の予定は絵カードを用いて伝えています。また、日常生活で行っている洗濯や入浴は手順書を用いるなど「シンプルで分かりやすく伝える」を目標にしています。

今後は、発達障害の研修参加や関係事業所との連携、意見交換を行うなど、さらなる支援の質向上に向けて日々研鑽しながら取り組んでいきます。

介護って実は面白い

～尾道福祉専門学校オープンキャンパス始まる～

日程

2016	2017
7月23日(土)	2月25日(土)
8月10日(水)、27日(土)	3月25日(土)
9月10日(土)、22日(祝)	
11月5日(土)	

時間

9:30～ 受付
 10:00～ 学校説明、授業体験
 校内見学
 12:30～ 昼食
 13:00～ 個別相談会

高校生、受験生、そして友達や保護者の方も、ぜひ一緒にご参加ください。

問い合わせ先 0848-37-2222
 (実施日 2 日前までにご予約ください。)



さつき SATSUKI

第56号
平成28年6月

発行

社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
 TEL (0848) 37-7272
 FAX (0848) 37-9610
 http://www.satukikai.com



応援イベント



Nordic Walk
尾道あるこうかー

歩いて話して楽しく介護予防

～ノルディックウォーク始めました～

しまの風 薄墨 邦明



▲桜の下をあるこうかー

当法人は新高山地区にて新たな介護予防事業として、ノルディックウォーク「尾道あるこうかー」を実施しています。ノルディックウォークは2本のポールを持つため安心して歩くことができ、普通に歩くより消費カロリーが20%程度増えるとされています。さらに自然と姿勢がきれいになります。

ここには約30名の方が登録され、定期的(週1～3日)に身体能力に応じたコース(初級、中級)と一緒に歩いています。コースは距離だけでなく坂の勾配も利用し強度を調整しています。当初は参加者の少ない日もありましたが、徐々に増え、1か月後には毎回10名以上の参加となりました。2月には尾道福祉専門学校で応援イベントを開催し、当法人職員の有志が応援団として参加し交流を図りました。

2か月後の体力測定では、ほとんどの方の数値が向上するとともに「姿勢がよくなり、体が動きやすくなった」、「歩くことが楽しくて毎日出て行くのが習慣になり、多くの方々と仲良くなれた」等の感想をいただきました。私自身、皆さんと一緒に季節の変化を感じながら歩く楽しさを味わい、地域のことを知ることができました。

今年度も新たな登録者を加え実施しています。この事業が今後住民同士の新たな交流の場として定着し、そこから互助が育成され、「生きがいや役割を持ち安心して住める町づくり」に貢献できたらと考えています。



▲新高山団地をあるこうかー

ご寄付をいただきました

このたび、(故)平田和久様の生前のご意向を汲み、ご家族から3千万円のご寄付を尾道さつき作業所にいただきました。

この寄付金は利用者さんや活動しやすいよう、同作業所、同施設整備に使用させていただきます。



すだちの家に助成金交付

広島県共同募金会
 平成27年度NHK歳末たすけあい助成金の交付を受け、4月に10人乗りワゴン車「ハイエースウエルキャブ」が納車されました。

三井住友海上福祉財団
 3月17日、助成金の交付を受け、キャブラバン「チェアキャブ」リフトタイプを購入しました。



2016 どんぐり工房カレンダー 収支状況

収入	支出	収益
3,170,000円	1,008,711円	2,161,289円

*3,500部制作

2016どんぐり工房カレンダーをご購入いただき、ありがとうございました。
 収益は全額、障害者施設で配分し、利用者さんの工賃として支給させていただきました。

寄付者一覧

(2016年1月～2016年4月・順不同、敬称略)

<寄付金> 東文子 池上三郎 鼻孝子 國貞峯子
 氏川重治 匿名希望2名

編集後記

私も「尾道あるこうかー」の応援イベントに参加させていただきました。地域の方と交流しながら気持ち良い汗をかくことができ、心身ともに元気になりました。(M・O)



すだちの家本館がリニューアル

～バリアフリー化しました～

すだちの家 岡垣 美佳



▲自動ドアで便利になりました

このことを踏まえ今回の改修は、『利用者さんの様々な障害特性に応じた「配慮」をすることで、より自立して活動していけること』を目的としました。バリアフリー化や多目的トイレの増設、作業室の拡張や、安定して作業に取り組むための環境整備などをしていきました。

新しい作業室へ引っ越すと、「気持ちがいいね」「前、ここに何があったかね」「便利になったね」など満足と感動の言葉を聞くことができ、職員一同うれしく思いました。

より専門性を深めた自立支援ができるよう、更なるサービス内容の充実を図っていきたくと心新たにしています。

日本財団から助成金を受け、すだちの家本館が生まれ変わりました。

すだちの家が御調町植野に建設されたのは2000年4月でした。15年の歳月を経て、利用者さんも増え、ニーズが多様に広がりました。作業量も増加して、作業室が手狭になりました。

15年の間に、障害者虐待防止法(平成24年10月)、障害者差別解消法(平成28年4月)と新しい法律が施行されました。これらは障害者の自立及び社会参加にとって大変重要です。



▲広く明るくなった作業室は個々のスペースに区切って使用します

合同避難訓練に汗

～野菜持ち寄り炊き出しも～

にしごこの家 石井 真理子

にしごこの家では地域の方々で合同避難訓練と炊き出しを行いました。尾道市では前例のない訓練ということで、職員や地域の方々で協力し準備を行いました。

避難訓練では、地震が起きてライフラインがストップした状態を想定し、まず利用者や職員の身の安全を確保、その後火災が発生し外へ避難するという訓練を行いました。



たき火で焼き手。温まりながら食べました。

地域の方が持ち寄った野菜。こんなに沢山!



炊き出しでおにぎりを作っています!



地域の方々にも訓練の様子を見ていただき意見交換を行いました。「役割分担を明確にしたほうがいい」「負傷者の搬送の仕方をもっと勉強したほうがいいのでは」「あわてず、もっと大きな声で指示を出したほうがいい」など、地域の皆さんから貴重な意見をいただきました。

その後、地域の皆さんが持ち寄った野菜を使い、炊き出しを行い一緒に豚汁を作りました。

災害はいつどこで起きるかわかりません。今回の経験を生かし、今後も地域との交流や連携を深めていきたいと思ひます。

シリーズ 福祉のしごと

障害児・者施設編

尾道さつき作業所は、生活介護事業と就労継続B型事業を行っている多機能型事業所です。食品作業や学校清掃、下請け作業など多種の作業があり、利用者さんに合わせた作業提供をしています。また、生活介護事業では、ウォーキングやレクリエーションなど作業以外の活動にも取り組んでいます。

「できる」「楽しい」を一緒に考えサポート

尾道さつき作業所 高田 佑希恵

Q1 どんな仕事をしていますか?

生活支援員として、利用者さんと作業やレクリエーション活動を行っています。また、個別の環境設定やスケジュール作りをしています。作業は、利用者さんの状態に合わせて、作業種や作業量を調整したり、作業しやすいように自助具を作ったりしています。個別の環境設定では休憩スペースで音楽が聞けたり、DVDを楽しめたり、好きな色のカーテンをかけるなど、落ち着ける工夫をしています。利用者さんが好きなこと、得意なことを探り、それを形にしていくのも仕事の一つです。



▲かつおパックの袋詰め作業



▲的をよくねらって...

Q2 仕事をするうえで大事にしていることは何ですか?

作業や活動の主役は利用者さんです。利用者さんが、「自分でできた」「やってみよう」と思えるよう、陰からサポートできたらと思っています。そのためには、利用者さんが、何に困っていて、どのような工夫があれば良いかを常に考えながら関わっています。利用者さんの「できた」「楽しい」の笑顔を見られた瞬間が、何よりのやりがいです。利用者さんから学び、試行錯誤する毎日ですが、これからも利用者さんと一緒に自分自身も成長していきたいと思っています。

初のデザートビュッフェ

～たくさんのデザートに目を輝かせ～

特別養護老人ホーム星の里 住井 秀隆



▲どれにするか迷います

特別養護老人ホーム星の里では、今年3月にデザートビュッフェを行いました。

栄養士、調理員と協力することで、カロリーコントロールの必要な利用者さんや、のみ込みの難しい利用者さんも参加することができました。

目の前のたくさんのデザートを見て目を輝かせ、うれしそうにデザートを選んでいました。「美味しいよ。まだ食べたい」と笑顔の絶えないひと時を過ごされました。

利用者さんがもっと楽しみのある生活を送るためにも、このような行事を今後も行っていきたいと思ひます。

★ ★ ★ 新任管理者紹介 ★ ★ ★

みつぎ清風園 園長 池田 光紀



● **福祉の仕事に就いたきっかけは?**
やんちゃしていた高3の時、福祉系大学のオープンキャンパスに参加したことがきっかけです。自分に合っていたのか、自然と福祉の道に進んでいました。

● **趣味・特技はありますか?**
趣味:ロックバンド(ドラム歴:約30年)
特技:カラオケ(福山雅治のモノマネ)

● **休日はどのように過ごしていますか?**
飲み会、温泉めぐり、金魚鉢の清掃

● **就任にあたっての感想(思い・意気込みなど)をお願いします。**

これまで障害と高齢者福祉の現場を経験させてもらい、幅広く対人援助技術を学ぶことができました。そのノウハウを利用者支援に生かすとともに、救護施設が地域の社会資源として機能できるよう、新たな地域支援事業を展開していきたいと考えています。